

# ジパング倶楽部

2011

9

受付  
23.9.12  
北海道観光振興機構

◆特集

神秘に満ちた

南九州ロマン紀行

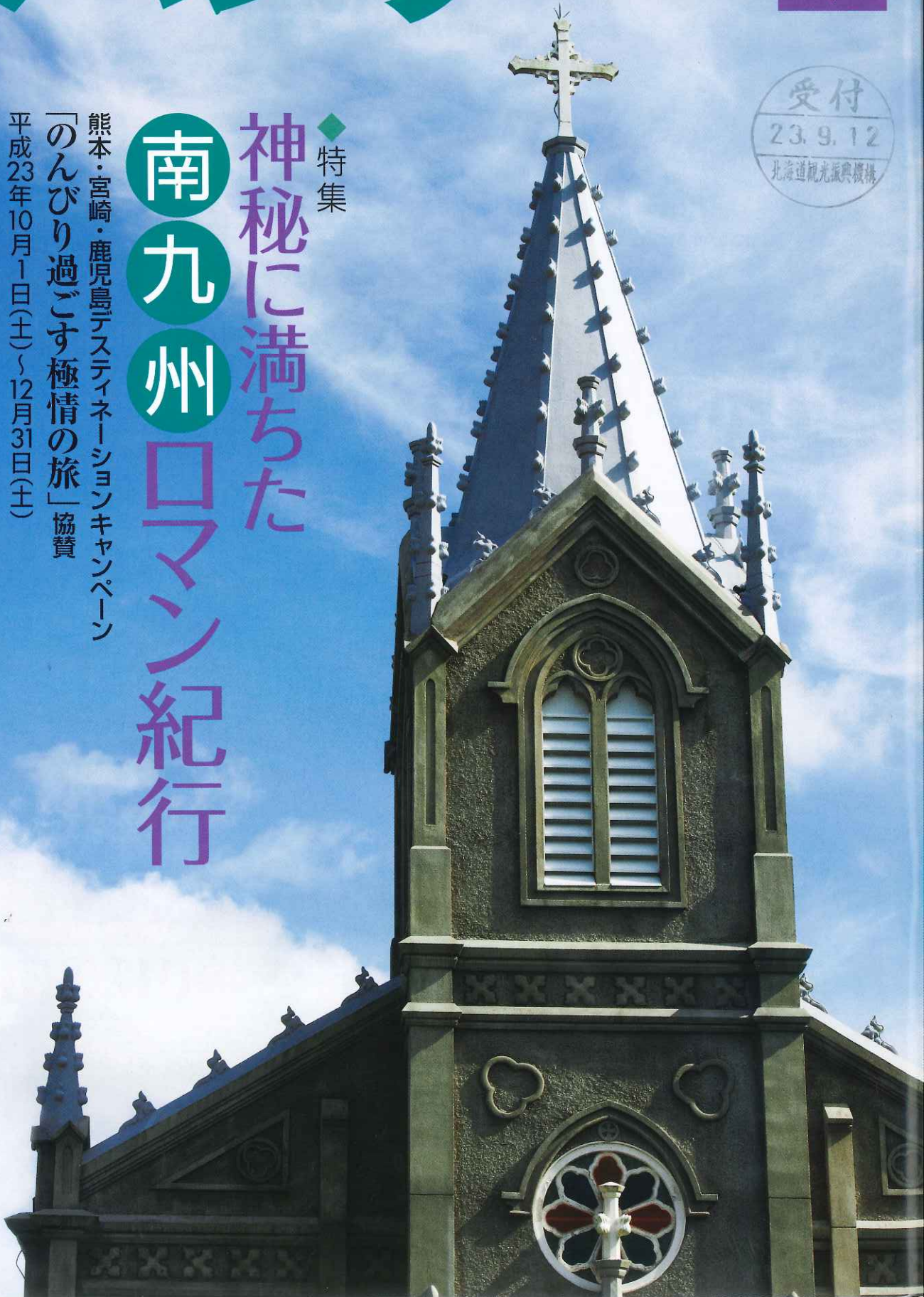
熊本・宮崎・鹿児島テストイネーションキャンペーン

「のんびり過ごす極情の旅」協賛

平成23年10月1日(土)～12月31日(土)

◆テーマ特集

駅からはじまるウォーキング





### ブナ北限の里をさらに楽しむ!

#### ブナ材の手回しオルガン

歌才森林公園に隣接する「ブナセンター」は、北限のブナをテーマにした楽しい博物館。そのホール内に展示されている手回しオルガンは、ブナ材でできた国内でも希少な作品。やさしい音色に心癒されること請け合いです。●9時30分～17時、月・火曜(祝日の場合は開館)と年末年始休。入館無料。黒松内駅から徒歩約40分。☎0136・72・4411



#### おでかけメモ

#### 黒松内町フットパス

現在は全4コース、「チョコシナイコース」(黒松内町役場～道の駅「くろまつない」/約10キロ)、「西沢コース」(宿泊施設「歌才自然の家」～トワ・ヴェール/約10キロ)、「寺の沢川コース」(黒松内町役場～歌才自然の家/約2キロ)、「歌才森林公園コース」(歌才自然の家を起点に周遊/約4キロ)があります。町内で今春から販売されているガイドマップ(写真/100円)は、持ち歩きに便利。詳しくは、事務局の黒松内町企画調整課へ



#### 手づくりストック「アルカサル」

ブナ林のウォーキングに役立つように、町内の雑貨店「リトルトリー」(☎0136・72・4144)の店主、宮川哲治さんが作製。素材は町内に自生するネマガリダケで、地面を突くと、曲がっている先端部のたわみで自然に体が前に進むようにつくり。見た目の細さとは裏腹に、高い耐久性を誇ります。1本3500～4500円。道の駅「くろまつない」などで販売。



**交通** 函館本線黒松内駅下車。黒松内町役場へは駅から徒歩5分。歌才森林公園へは駅からタクシー(呼出)5分

#### 観光の問い合わせ

黒松内町企画調整課 ☎0136・72・3376



「西沢コース」の農道から。奥に見える洋風建築は、特産物手づくり加工センター「トワ・ヴェール」で、牧歌的な風景のアクセントとなっています



原生状態が保たれている歌オブナ林では、倒木もそのままに

距離が短くて気軽に楽しめる「寺の沢川コース」。途中には、ひと休みできるベンチも

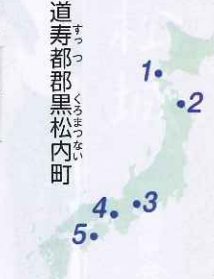
フットパスのかわいらしい案内表示。足の向きが進行方向を示しています



## 1. ブナ北限の里をフットパスで楽しむ

気になるあの町へ

北海道寿都郡黒松内町



「フットパス」という言葉をご存じでしょうか? これは、「地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩く(footing)ことができる小径(path)」のことで、イギリスが発祥地。近年日本でも広まりつつあり、とくに北海道は、雄大な土地と自然を生かしたフットパスの整備が盛んな地域なのです。

北海道南西部、函館と札幌のほぼ中間に位置する黒松内町もそのひとつ。ウォーキングイベントの開催やボランティアによる小径の草刈りなど、地道な活動が平成16年から続けられています。町役場の桜井淳一さんが最初に案内してくれたフットパスの見どころは、「西沢コース」の名もない畦道(せみち)でした。視界に広がるのは牧草地や畑、それらを取り巻く樹木ばかり。しかし、わずかに散在する牧舎などの建物が点景となっており、

一幅の絵のような眺めです。「華やかなものは何もありませんが、ヨーロッパの農村のような心安らぐ景観に磨きをかけた」という桜井さんの言葉に実感がこもります。

続いて歩いた「歌才森林公園コース」は、一部にウッドチップが敷かれて足にやさしく、展望台からの町の眺望もみごとです。途中で国有林「歌オブナ林」の林道が分岐しているのので、こちらへの寄り道もおすすめ。日本の自生北限で国の天然記念物に指定されているこのブナ林は、数々の伐採の危機を乗り越えてきた、町一番の宝。人間の手入れが極力排され、風雪で倒れた木から新しい木の芽吹きが見られるなど、自然の豊かな生命力を感じ取れます。森林内の澄んだ空気を吸い込んでいくように、徐々に体内が浄化されていくような気分になってきました。